

第4期

運用報告書(全体版)

ファンドは特化型運用を行います。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	2024年6月28日から2045年6月12日までです。	
運用方針	SBI岡三 NASDAQ AIアクティブマザーファンド(以下、「マザーファンド」といいます。)を通じて、主として米国のNASDAQ上場株式(これに準ずるものを含みます。)を投資対象とし、投資信託財産の成長を目指して運用を行います。実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。	
主要投資対象	当ファンド	マザーファンドの受益証券を主要投資対象とします。
	SBI岡三 NASDAQ AIアクティブマザーファンド	米国のNASDAQ上場株式(これに準ずるものを含みます。)を主要投資対象とします。
主な投資制限	当ファンド	マザーファンドの受益証券の投資割合には制限を設けません。
	SBI岡三 NASDAQ AIアクティブマザーファンド	株式(新株引受権証券および新株予約権証券を含みます。)の投資割合には制限を設けません。外貨建資産の投資割合には制限を設けません。
分配方針	毎年6月12日および12月12日(それぞれ休業日の場合は翌営業日)に決算を行い、原則として、以下の方針に基づき収益分配を行います。 分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。繰越分を含めた経費控除後の配当等収益には、マザーファンドの配当等収益のうち、投資信託財産に帰属すべき配当等収益を含むものとします。 分配金額は、分配対象収益の範囲内で、委託会社が基準価額水準等を勘案して決定します。 委託会社の判断により、収益分配を行わないことがあります。	

SBI岡三 NASDAQ AIアクティブファンド

【2026年6月12日決算】

受益者の皆様へ

素素は格別のご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。

皆様の「SBI岡三 NASDAQ AIアクティブファンド」は、2026年6月12日に第4期決算を迎えましたので、期中の運用状況ならびに決算のご報告を申し上げます。

今後とも、一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

SBI 岡三アセットマネジメント

〒104-0031 東京都中央区京橋2-2-1
ホームページ <https://www.sbiokasan-am.co.jp>

■口座残高など、お客さまのお取引内容についてのお問い合わせ
お取引のある販売会社へお問い合わせください。

■当運用報告書についてのお問い合わせ
03-3516-1300 (受付時間：営業日の9:00～17:00)

○設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 価 額			NASDAQ総合指数（配当込み） 〔 円 換 算 後 〕		株 組 入 比 率	株 先 物 比 率	純 資 産 額
	（分配落）	税 込 分 配 金	期 騰 落 中 率	（参考指数）	期 騰 落 中 率			
（設定日）	円	円	%	ポイント	%	%	%	百万円
2024年6月28日	10,000	—	—	3,501,903.4050	—	—	—	538
1期(2024年12月12日)	10,385	0	3.9	3,729,106.0800	6.5	98.1	—	1,660
2期(2025年6月12日)	10,142	0	△ 2.3	3,464,835.0384	△ 7.1	98.0	—	1,652
3期(2025年12月12日)	13,163	0	29.8	4,516,259.5530	30.3	97.6	—	1,873
4期(2026年6月12日)	16,916	0	28.5	5,098,237.8724	12.9	96.7	—	2,821

（注）基準価額および分配金（税引前）は1万口当たり、基準価額の騰落率は分配金（税引前）込み。
（注）設定日の基準価額および純資産総額は当初設定元本。
（注）NASDAQ総合指数（配当込み）〔円換算後〕は当ファンドの参考指数であり、ベンチマークではありません。
NASDAQ総合指数（配当込み）〔円換算後〕は、当該日前営業日の現地終値に為替レート（対顧客電信売買相場の当日（東京）の仲値）を乗じて当社が算出しております。（以下同じ。）
（注）当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、株式組入比率および株式先物比率は実質比率を記載しております。
（注）株式先物比率＝買建比率－売建比率。

Nasdaq®は、Nasdaq, Inc. またはその関連会社（以下、Nasdaq, Inc. およびその関連会社を「Nasdaq社」と総称します）の登録商標であり、SBI 岡三アセットマネジメント株式会社が使用許諾を受けています。Nasdaq社は、SBI 岡三アセットマネジメント株式会社が設定するアクティブ・ファンドの運用プロセス、または当該ファンドのマーケティングまたは取引に関連して、いかなる関係も責任も負いません。当該アクティブ・ファンドとその運用プロセスの合法性または適格性はNasdaq社によって保証されたものではありません。当該ファンドは、Nasdaq社によって発行、承認、販売、または販促されるものではありません。また、Nasdaq社は、当該ファンドに関していかなる保証も行わず、責任を負いません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

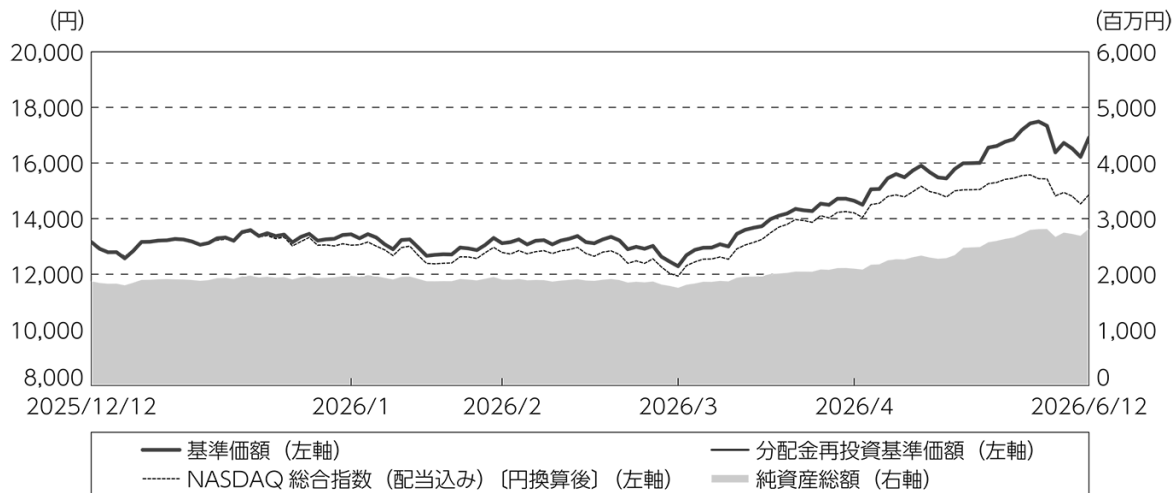
年 月 日	基 準 価 額		NASDAQ総合指数（配当込み） 〔 円 換 算 後 〕		株 組 入 比 率	株 先 物 比 率
		騰 落 率	（参考指数）	騰 落 率		
（期 首）	円	%	ポイント	%	%	%
2025年12月12日	13,163	—	4,516,259.5530	—	97.6	—
12月末	13,180	0.1	4,519,179.5488	0.1	97.7	—
2026年1月末	13,438	2.1	4,476,135.7758	△ 0.9	97.1	—
2月末	13,118	△ 0.3	4,386,598.3931	△ 2.9	98.0	—
3月末	12,288	△ 6.6	4,094,486.8300	△ 9.3	97.7	—
4月末	14,643	11.2	4,874,811.8611	7.9	97.6	—
5月末	16,764	27.4	5,288,563.3878	17.1	97.5	—
（期 末）						
2026年6月12日	16,916	28.5	5,098,237.8724	12.9	96.7	—

（注）騰落率は期首比。

運用経過

期中の基準価額等の推移

(2025年12月13日～2026年6月12日)



期 首：13,163円

期 末：16,916円 (既払分配金(税引前)：0円)

騰落率： 28.5% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 参考指数は、NASDAQ総合指数(配当込み)[円換算後]です。
- (注) 分配金再投資基準価額および参考指数は、期首(2025年12月12日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドの主要投資対象である「SBI 岡三 NASDAQ AIアクティブマザーファンド(以下、マザーファンドといいます。)」における主なプラス要因およびマイナス要因は以下の通りです。

(主なプラス要因)

- ・業種配分では、半導体・半導体製造装置、テクノロジー・ハードウェアおよび機器、運輸などがプラスに寄与しました。
- ・個別銘柄では、MICRON TECHNOLOGY INC、LAM RESEARCH CORP、APPLIED MATERIALS INCなどがプラスに寄与しました。
- ・米ドルの対円での上昇がプラスに寄与しました。

(主なマイナス要因)

- ・業種配分では、ソフトウェア・サービス、消費者サービス、自動車・自動車部品などがマイナスに影響しました。

- ・個別銘柄では、MICROSOFT CORP、PALANTIR TECHNOLOGIES INC-A、APPROVIN CORP-CLASS Aなどがマイナスに影響しました。

投資環境

(2025年12月13日～2026年6月12日)

米国株式市場は上昇しました。期初から2026年2月下旬にかけては、テクノロジー企業を中心に株価の過熱感が意識される中、もみ合う展開が続きました。3月に入ってから、中東情勢の緊迫化に伴う原油価格の上昇から、インフレ再加速への警戒が強まり、株価は下落しました。しかし、4月以降は、米国とイランの停戦合意への期待に加えて、半導体やデータセンターなど人工知能（AI）関連の需要や投資拡大への期待が強まり、株価は反発し上値を試す動きとなりました。期末にかけて、利上げ観測の高まりなどを受けて上昇幅をやや縮小しました。

為替市場では、米ドル高・円安基調が続きました。2025年12月には日米の金融政策決定や介入警戒感から乱高下したものの、年明け以降は日本の財政拡張懸念などが意識され、米ドル／円は一段高となりました。その後、日米当局によるレートチェックや、日本政府・日銀による為替介入などを受けて一時的に円高方向へ振れる局面もありましたが、日銀の追加利上げ期待の後退や、中東情勢の悪化に伴う原油高などを背景に、米ドル／円は上昇基調が継続しました。

当ファンドのポートフォリオ

(2025年12月13日～2026年6月12日)

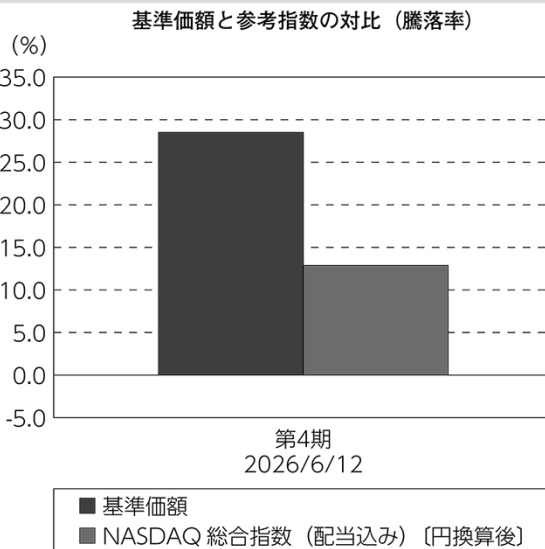
当ファンドの運用はマザーファンドを通じて行い、実質株式組入比率を高位で推移させました。

マザーファンドにおいては、運用方針に則り、助言者である株式会社FOLIOからのAIによる投資候補銘柄の予測リターン順位を基に、定量アプローチによるリスクコントロールを行い、ポートフォリオを構築しました。資金フローに対応しつつ組入比率を高位で維持しながら、月毎にAI予測や定量データの変化を基にポートフォリオを見直しました。

当ファンドのベンチマークとの差異

(2025年12月13日～2026年6月12日)

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。右記のグラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

(注) 参考指数は、NASDAQ総合指数（配当込み）〔円換算後〕です。

分配金

(2025年12月13日～2026年6月12日)

当期の分配金につきましては、分配方針に則り、基準価額水準等を勘案して、以下のとおりいたしました。なお、収益分配に充てなかった留保益につきましては、運用の基本方針と同一の運用を行ってまいります。

(単位：円、1万口当たり・税引前)

項 目	第 4 期
	2025年12月13日～ 2026年6月12日
当期分配金 (対基準価額比率)	— —%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	6,916

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税引前)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

今後の米国株式市場は堅調に推移すると予想します。主な上昇要因は企業業績の拡大と考えており、特に業績の大幅な拡大が期待されるAI関連銘柄への資金流入が株価の上昇を牽引する見通しです。その過程では、AI関連銘柄の過熱感を巡る議論も高まると見えています。リスク要因としては景気の停滞と物価の上昇が同時に進行する局面で利上げが選択される点が挙げられます。その場合には一定期間を経て、株価は調整局面に入る可能性があります。

当ファンドの今後の運用につきましては、マザーファンド受益証券への投資を通じた実質株式組入比率を高位に推移させる方針です。

マザーファンドの運用につきましては、運用方針に則り、助言者である株式会社FOLIOからのAIによる投資候補銘柄の予測リターン順位を基に、定量アプローチによるリスクコントロールを行い、ポートフォリオを構築する方針です。資金フローに対応しつつ組入比率を高位で維持しながら、月毎にAI予測や定量データの変化を基にポートフォリオを見直します。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2025年12月13日～2026年6月12日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 69	% 0.497	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(53)	(0.384)	委託した資金の運用の対価
(販 売 会 社)	(14)	(0.104)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の 情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(1)	(0.009)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	5	0.039	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数
(株 式)	(5)	(0.039)	売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有 価 証 券 取 引 税	0	0.001	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数
(株 式)	(0)	(0.001)	有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) そ の 他 費 用	3	0.018	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(2)	(0.011)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の 送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(1)	(0.007)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	その他は、信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	77	0.555	
期中の平均基準価額は、13,905円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

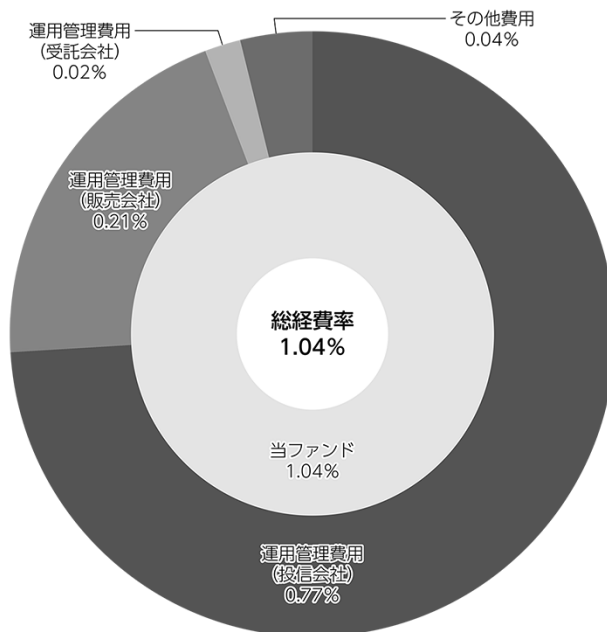
(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.04%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況 (2025年12月13日～2026年6月12日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
SBI 岡三 NASDAQ AIアクティブマザーファンド	千口 309,629	千円 488,263	千口 78,751	千円 105,431

(注) 単位未満は切捨て。

○株式売買比率 (2025年12月13日～2026年6月12日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
	SBI 岡三 NASDAQ AIアクティブマザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	3,331,598千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	1,994,266千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	1.67

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均です。

○利害関係人との取引状況等 (2025年12月13日～2026年6月12日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細 (2026年6月12日現在)

親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
SBI 岡三 NASDAQ AIアクティブマザーファンド	千口 1,391,632	千口 1,622,509	千円 2,808,888

(注) 口数・評価額の単位未満は切捨て。

○投資信託財産の構成

(2026年6月12日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
SBI 岡三 NASDAQ AIアクティブマザーファンド	千円 2,808,888	% 98.5
コール・ローン等、その他	41,602	1.5
投資信託財産総額	2,850,490	100.0

- (注) 評価額の単位未満は切捨て。
- (注) SBI 岡三 NASDAQ AIアクティブマザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産（2,746,929千円）の投資信託財産総額（2,808,822千円）に対する比率は97.8%です。
- (注) 外貨建資産は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、邦貨換算レートは1米ドル＝160.18円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2026年6月12日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	2,850,490,382
コール・ローン等	41,601,145
SBI岡三 NASDAQ AIアクティブマザーファンド(評価額)	2,808,888,661
未収利息	576
(B) 負債	28,593,256
未払解約金	18,326,443
未払信託報酬	10,132,665
その他未払費用	134,148
(C) 純資産総額(A－B)	2,821,897,126
元本	1,668,146,130
次期繰越損益金	1,153,750,996
(D) 受益権総口数	1,668,146,130口
1万口当たり基準価額(C／D)	16,916円

(注) 計算期間末における1口当たりの純資産額は、1.6916円です。

(注) 当ファンドの期首元本額は1,423,325,418円、期中追加設定元本額は540,099,235円、期中一部解約元本額は295,278,523円です。

○損益の状況 (2025年12月13日～2026年6月12日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	61,755
受取利息	61,755
(B) 有価証券売買損益	540,678,677
売買益	568,464,644
売買損	△ 27,785,967
(C) 信託報酬等	△ 10,266,813
(D) 当期損益金(A＋B＋C)	530,473,619
(E) 前期繰越損益金	335,315,473
(F) 追加信託差損益金	287,961,904
(配当等相当額)	(183,944,770)
(売買損益相当額)	(104,017,134)
(G) 計(D＋E＋F)	1,153,750,996
(H) 収益分配金	0
次期繰越損益金(G＋H)	1,153,750,996
追加信託差損益金	287,961,904
(配当等相当額)	(184,129,363)
(売買損益相当額)	(103,832,541)
分配準備積立金	865,789,092

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定した価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 収益分配金

決算期	第4期
(a) 配当等収益(費用控除後)	3,654,988円
(b) 有価証券等損益額(費用控除後、繰越欠損金補填後)	526,818,631円
(c) 信託約款に規定する収益調整金	287,961,904円
(d) 信託約款に規定する分配準備積立金	335,315,473円
分配対象収益(a＋b＋c＋d)	1,153,750,996円
分配対象収益(1万口当たり)	6,916円
分配金額	0円
分配金額(1万口当たり)	0円

＜お知らせ＞

・一般社団法人資産運用業協会設立準備法人を吸収合併存続法人、一般社団法人日本投資顧問業協会と一般社団法人投資信託協会を吸収合併消滅法人として2026年4月1日付で合併し、「一般社団法人資産運用業協会」に名称を変更することとなったため、投資信託約款の記載変更を行いました。(実施日：2026年4月1日)

SBI 岡三 NASDAQ AIアクティブマザーファンド

第2期 運用状況のご報告

決算日：2026年6月12日

当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	米国のNASDAQ上場株式（これに準ずるものを含みます。）に投資し、投資信託財産の成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	米国のNASDAQ上場株式（これに準ずるものを含みます。）を主要投資対象とします。
主な投資制限	株式（新株引受権証券および新株予約権証券を含みます。）の投資割合には制限を設けません。外貨建資産の投資割合には制限を設けません。

○設定以来の運用実績

決算期	基準価額		NASDAQ総合指数（配当込み） 〔円換算後〕		株組入比率	株先物比率	純資産総額
	期騰落	率	（参考指数）	期騰落率			
（設定日） 2024年6月28日	円	%	ポイント	%	%	%	百万円
	10,000	—	3,501,903.4050	—	—	—	535
1期(2025年6月12日)	10,236	2.4	3,464,835.0384	△ 1.1	98.5	—	1,644
2期(2026年6月12日)	17,312	69.1	5,098,237.8724	47.1	97.1	—	2,808

（注）基準価額は1万口当たり。

（注）設定日の基準価額および純資産総額は当初設定元本。

（注）NASDAQ総合指数（配当込み）〔円換算後〕は当ファンドの参考指数であり、ベンチマークではありません。

NASDAQ総合指数（配当込み）〔円換算後〕は、当該日前営業日の現地終値に為替レート（対顧客電信売買相場の当日（東京）の仲値）を乗じて当社が算出しております。（以下同じ。）

（注）株式先物比率＝買建比率－売建比率。

Nasdaq®は、Nasdaq, Inc. またはその関連会社（以下、Nasdaq, Inc. およびその関連会社を「Nasdaq社」と総称します）の登録商標であり、SBI 岡三アセットマネジメント株式会社が使用許諾を受けています。Nasdaq社は、SBI 岡三アセットマネジメント株式会社が設定するアクティブ・ファンドの運用プロセス、または当該ファンドのマーケティングまたは取引に関連して、いかなる関係も責任も負いません。当該アクティブ・ファンドとその運用プロセスの合法性または適格性はNasdaq社によって保証されたものではありません。当該ファンドは、Nasdaq社によって発行、承認、販売、または販促されるものではありません。また、Nasdaq社は、当該ファンドに関していかなる保証も行わず、責任を負いません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

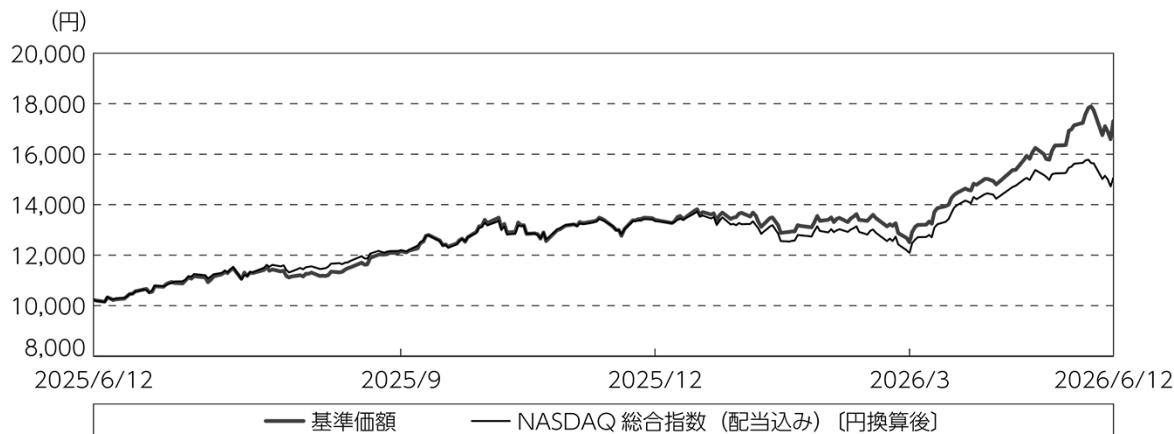
年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率	NASDAQ総合指数（配当込み） 〔 円 換 算 後 〕 （参考指数）		株 組 入 比 率	株 先 物 比 率
			ポイ ン ト	騰 落 率		
（期 首） 2025年 6 月12日	円 10,236	% —	3,464,835.0384	% —	% 98.5	% —
6 月末	10,642	4.0	3,599,156.9754	3.9	98.5	—
7 月末	11,420	11.6	3,870,633.6501	11.7	99.2	—
8 月末	11,313	10.5	3,913,027.6116	12.9	98.5	—
9 月末	12,152	18.7	4,129,606.6416	19.2	98.2	—
10月末	13,278	29.7	4,462,626.5890	28.8	99.1	—
11月末	13,175	28.7	4,468,555.2231	29.0	98.6	—
12月末	13,398	30.9	4,519,179.5488	30.4	98.3	—
2026年 1 月末	13,675	33.6	4,476,135.7758	29.2	97.7	—
2 月末	13,357	30.5	4,386,598.3931	26.6	98.5	—
3 月末	12,517	22.3	4,094,486.8300	18.2	98.2	—
4 月末	14,943	46.0	4,874,811.8611	40.7	98.3	—
5 月末	17,145	67.5	5,288,563.3878	52.6	98.0	—
（期 末） 2026年 6 月12日	17,312	69.1	5,098,237.8724	47.1	97.1	—

(注) 騰落率は期首比。

運用経過

期中の基準価額等の推移

(2025年6月13日～2026年6月12日)



(注) 参考指数は、NASDAQ総合指数（配当込み）〔円換算後〕です。

(注) 参考指数は、期首（2025年6月12日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドにおける主なプラス要因およびマイナス要因は以下の通りです。

(主なプラス要因)

- ・業種配分では、半導体・半導体製造装置、テクノロジー・ハードウェアおよび機器、メディア・娯楽などがプラスに寄与しました。
- ・個別銘柄では、MICRON TECHNOLOGY INC、LAM RESEARCH CORP、APPLIED MATERIALS INCなどがプラスに寄与しました。
- ・米ドルの対円での上昇がプラスに寄与しました。

(主なマイナス要因)

- ・業種配分では、消費者サービス、商業・専門サービス、食品・飲料・タバコなどがマイナスに影響しました。
- ・個別銘柄では、NETFLIX INC、MICROSOFT CORP、META PLATFORMS INC - CLASS Aなどがマイナスに影響しました。

投資環境

(2025年6月13日～2026年6月12日)

米国株式市場は上昇しました。期初から2025年10月下旬にかけては、利下げ期待が高まったことや、企業決算が好調に推移するとの見方を背景に、株価は堅調に推移しました。11月から2026年2月下旬にかけては、テクノロジー企業を中心に株価の過熱感が意識される中、もみ合う展開が続きました。3月に入ってから、中東情勢の緊迫化に伴う原油価格の上昇から、インフレ再加速への警戒が強まり、株価は下落しました。しかし、4月以降は、米国とイランの停戦合意への期待に加えて、半導体やデータセンターなど人工知能（AI）関連の需要や投資拡大への期待が強まり、株価は反発し上値を試す動きとなりました。期末にかけて、利上げ観測の高まりなどを受けて上昇幅をやや縮小しました。

為替市場では、米経済指標の強さや日銀の利上げ後ずれ観測を背景に、米ドル高・円安基調が続きました。2025年12月には日米の金融政策決定や介入警戒感から乱高下したものの、年明け以降は日本の財政拡張懸念などが意識され、米ドル/円は一段高となりました。その後、日米当局によるレートチェックや、日本政府・日銀による為替介入などを受けて一時的に円高方向へ振れる局面もありましたが、日銀の追加利上げ期待の後退や、中東情勢の悪化に伴う原油高などを背景に、米ドル/円は上昇基調が継続しました。

当ファンドのポートフォリオ

(2025年6月13日～2026年6月12日)

運用方針に則り、助言者である株式会社FOLIOからのAIによる投資候補銘柄の予測リターン順位を基に、定量アプローチによるリスクコントロールを行い、ポートフォリオを構築しました。資金フローに対応しつつ組入比率を高位で維持しながら、月毎にAI予測や定量データの変化を基にポートフォリオを見直しました。

今後の運用方針

今後の米国株式市場は堅調に推移すると予想します。主な上昇要因は企業業績の拡大と考えており、特に業績の大幅な拡大が期待されるAI関連銘柄への資金流入が株価の上昇を牽引する見通しです。その過程では、AI関連銘柄の過熱感を巡る議論も高まると見えています。リスク要因としては景気の停滞と物価の上昇が同時に進行する局面で利上げが選択される点が挙げられます。その場合には一定期間を経て、株価は調整局面に入る可能性があります。

当ファンドの運用につきましては、運用方針に則り、助言者である株式会社FOLIOからのAIによる投資候補銘柄の予測リターン順位を基に、定量アプローチによるリスクコントロールを行い、ポートフォリオを構築する方針です。資金フローに対応しつつ組入比率を高位で維持しながら、月毎にAI予測や定量データの変化を基にポートフォリオを見直します。

○1万口当たりの費用明細

(2025年6月13日～2026年6月12日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式)	円 10 (10)	% 0.075 (0.075)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) 有 価 証 券 取 引 税 (株 式)	0 (0)	0.001 (0.001)	(b) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (そ の 他)	4 (4) (0)	0.029 (0.029) (0.000)	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 その他は、信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	14	0.105	
期中の平均基準価額は、13,084円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2025年6月13日～2026年6月12日)

株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外 国	アメリカ	百株 963 (43)	千米ドル 19,155 (ー)	百株 849	千米ドル 18,650

(注) 金額は受渡代金。

(注) 単位未満は切捨て。

(注) ()内は株式分割、予約権行使、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

○株式売買比率

(2025年6月13日～2026年6月12日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	5,884,067千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	1,837,795千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	3.20

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均です。

○利害関係人との取引状況等

(2025年6月13日～2026年6月12日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2026年6月12日現在)

外国株式

銘柄	株数	当期末	期末		業種等
			評価額	金額	
銘柄	株数	株数	外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)	百株	百株	千米ドル	千円	
AMAZON.COM INC	18	16	399	63,946	一般消費財・サービス流通・小売り
ANALOG DEVICES INC	—	11	457	73,210	半導体・半導体製造装置
APPLIED MATERIALS INC	—	13	760	121,806	半導体・半導体製造装置
COSTCO WHOLESALE CORP	5	—	—	—	生活必需品流通・小売り
META PLATFORMS INC-CLASS A	9	13	774	124,102	メディア・娯楽
GILEAD SCIENCES INC	1	—	—	—	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
ALPHABET INC-CL A	3	6	234	37,536	メディア・娯楽
KLA CORP	3	2	658	105,458	半導体・半導体製造装置
LAM RESEARCH CORP	36	19	721	115,556	半導体・半導体製造装置
MICRON TECHNOLOGY INC	—	12	1,209	193,814	半導体・半導体製造装置
NVIDIA CORP	83	83	1,712	274,375	半導体・半導体製造装置
OLD DOMINION FREIGHT LINE	15	16	414	66,434	運輸
SANDISK CORP	—	3	581	93,126	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
SEAGATE TECHNOLOGY ULC	—	5	478	76,616	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
ADVANCED MICRO DEVICES	—	5	262	42,093	半導体・半導体製造装置
BOOKING HOLDINGS INC	0.63	26	430	68,942	消費者サービス
CINTAS CORP	12	—	—	—	商業・専門サービス
TEXAS INSTRUMENTS INC	—	17	529	84,756	半導体・半導体製造装置
FASTENAL CO	62	87	404	64,833	資本財
WALMART INC	—	67	810	129,745	生活必需品流通・小売り
WESTERN DIGITAL CORP	—	9	482	77,320	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
INTUIT INC	4	—	—	—	ソフトウェア・サービス
CADENCE DESIGN SYS INC	9	—	—	—	ソフトウェア・サービス
NETFLIX INC	4	70	574	92,010	メディア・娯楽
SYNOPSYS INC	5	—	—	—	ソフトウェア・サービス
MONOLITHIC POWER SYSTEMS INC	—	2	405	64,926	半導体・半導体製造装置
O'REILLY AUTOMOTIVE INC	30	46	417	66,864	一般消費財・サービス流通・小売り
MICROSOFT CORP	15	12	486	77,968	ソフトウェア・サービス
INTEL CORP	—	7	86	13,807	半導体・半導体製造装置
APPLE INC	52	51	1,526	244,583	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
LULULEMON ATHLETICA INC	7	—	—	—	耐久消費財・アパレル
MERCADOLIBRE INC	1	—	—	—	一般消費財・サービス流通・小売り
BROADCOM INC	12	4	191	30,633	半導体・半導体製造装置
FORTINET INC	27	—	—	—	ソフトウェア・サービス
TESLA INC	3	5	226	36,251	自動車・自動車部品
PALO ALTO NETWORKS INC	16	—	—	—	ソフトウェア・サービス
CROWDSTRIKE HOLDINGS INC - A	6	6	453	72,664	ソフトウェア・サービス
CONSTELLATION ENERGY	9	—	—	—	公益事業
APPLOVIN CORP-CLASS A	7	7	376	60,252	ソフトウェア・サービス
DOORDASH INC - A	13	—	—	—	消費者サービス
ARM HOLDINGS PLC-ADR	—	10	366	58,710	半導体・半導体製造装置
LUMENTUM HOLDINGS INC	—	4	402	64,550	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
ALPHABET INC-CL C	2	5	195	31,241	メディア・娯楽
ATLASSIAN CORP-CL A	11	—	—	—	ソフトウェア・サービス
合計	株数・金額	497	655	17,031	2,728,142
銘柄数<比率>	31	31	—	<97.1%>	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 邦貨換算金額欄の< >内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

(注) 株数・評価額の単位未満は切捨て。ただし、株数が単位未満の場合は小数で記載。

○投資信託財産の構成

(2026年6月12日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
株式	千円 2,728,142	% 97.1
コール・ローン等、その他	80,680	2.9
投資信託財産総額	2,808,822	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

(注) 当期末における外貨建純資産（2,746,929千円）の投資信託財産総額（2,808,822千円）に対する比率は97.8%です。

(注) 外貨建資産は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、邦貨換算レートは1米ドル＝160.18円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2026年6月12日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	2,866,473,229
コール・ローン等	79,595,650
株式(評価額)	2,728,142,320
未収入金	57,651,228
未収配当金	1,083,175
未収利息	856
(B) 負債	57,651,768
未払金	57,651,768
(C) 純資産総額(A－B)	2,808,821,461
元本	1,622,509,624
次期繰越損益金	1,186,311,837
(D) 受益権総口数	1,622,509,624口
1万口当たり基準価額(C／D)	17,312円

(注) 計算期間末における1口当たりの純資産額は、1.7312円です。

(注) 当ファンドの期首元本額は1,606,465,844円、期中追加設定元本額は401,757,877円、期中一部解約元本額は385,714,097円です。

(注) 当親ファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本額は、以下の通りです。

SBI 岡三 NASDAQ AIアクティブファンド 1,622,509,624円

○損益の状況 (2025年6月13日～2026年6月12日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	6,752,872
受取配当金	6,649,508
受取利息	103,364
(B) 有価証券売買損益	1,010,480,006
売買益	1,176,857,364
売買損	△ 166,377,358
(C) その他費用等	△ 547,118
(D) 当期損益金(A＋B＋C)	1,016,685,760
(E) 前期繰越損益金	37,952,757
(F) 追加信託差損益金	201,760,223
(G) 解約差損益金	△ 70,086,903
(H) 計(D＋E＋F＋G)	1,186,311,837
次期繰越損益金(H)	1,186,311,837

(注) 損益の状況の中で(B) 有価証券売買損益は、期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定した価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 損益の状況の中で(G) 解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

＜お知らせ＞

・一般社団法人資産運用業協会設立準備法人を吸収合併存続法人、一般社団法人日本投資顧問業協会と一般社団法人投資信託協会を吸収合併消滅法人として2026年4月1日付で合併し、「一般社団法人資産運用業協会」に名称を変更することとなったため、投資信託約款の記載変更を行いました。(実施日：2026年4月1日)